

# えびみん

応援します! 《極地研》

【連載】国立極地研究所  
石の記憶をたどる

10

立川と語ろう 立川に生きよう  
October 2009  
écoutez bien Vol.28 No.299

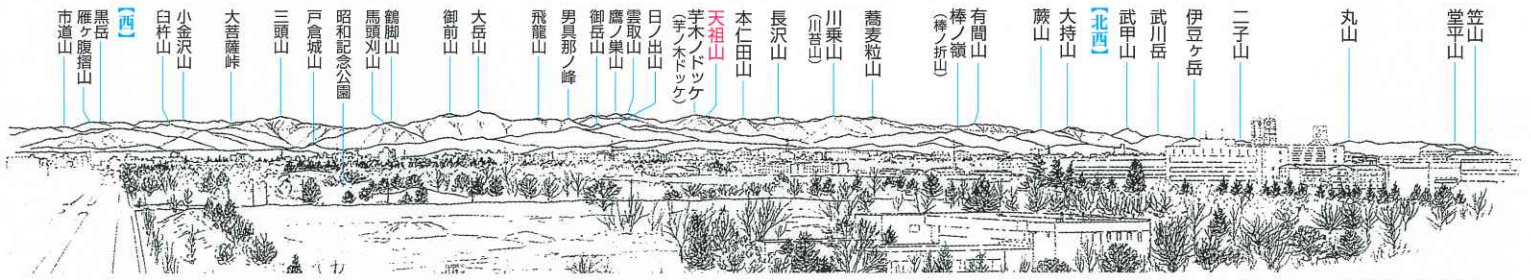


## 続々・立川から見える山 ③

案内人：守屋龍男  
山岳展望図：藤本一美

# 天祖山 (てんそざん)

1,723m

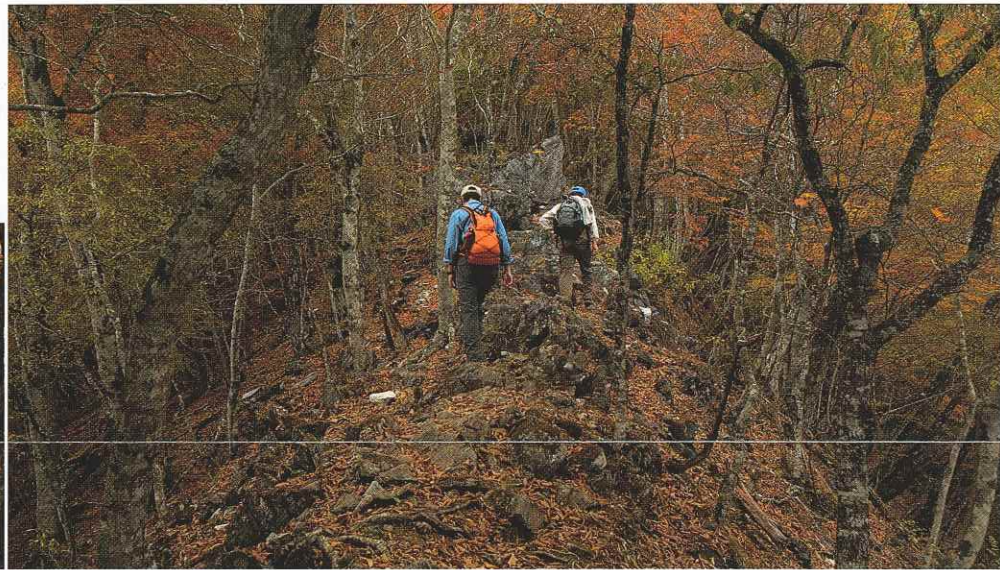


多摩モノレール 立川北-高松間より

## 荘厳な神社鎮座する山頂

### 【天祖山へのコース】

登山口まで車で約2時間。  
電車・バスでは奥多摩駅・日原鍾乳洞入口経由で約2時間30分。  
登山口→1時間20分→アメダス→2時間→会所→10分→山頂(帰路約3時間)。



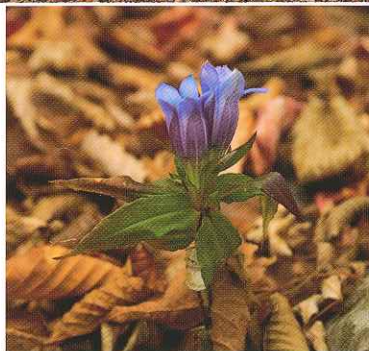
奥多摩の最深部にある天祖山は全山が石灰岩で出来ている。かつて白石山と呼ばれていたのはこのためである。現在は山頂に伊勢神宮系の天祖神社があるので、天祖山と呼ばれている。立川からは雲取山や芋木ノドツケの右方向に見える。石灰岩の採掘のために東面の山肌が白っぽくなっている。

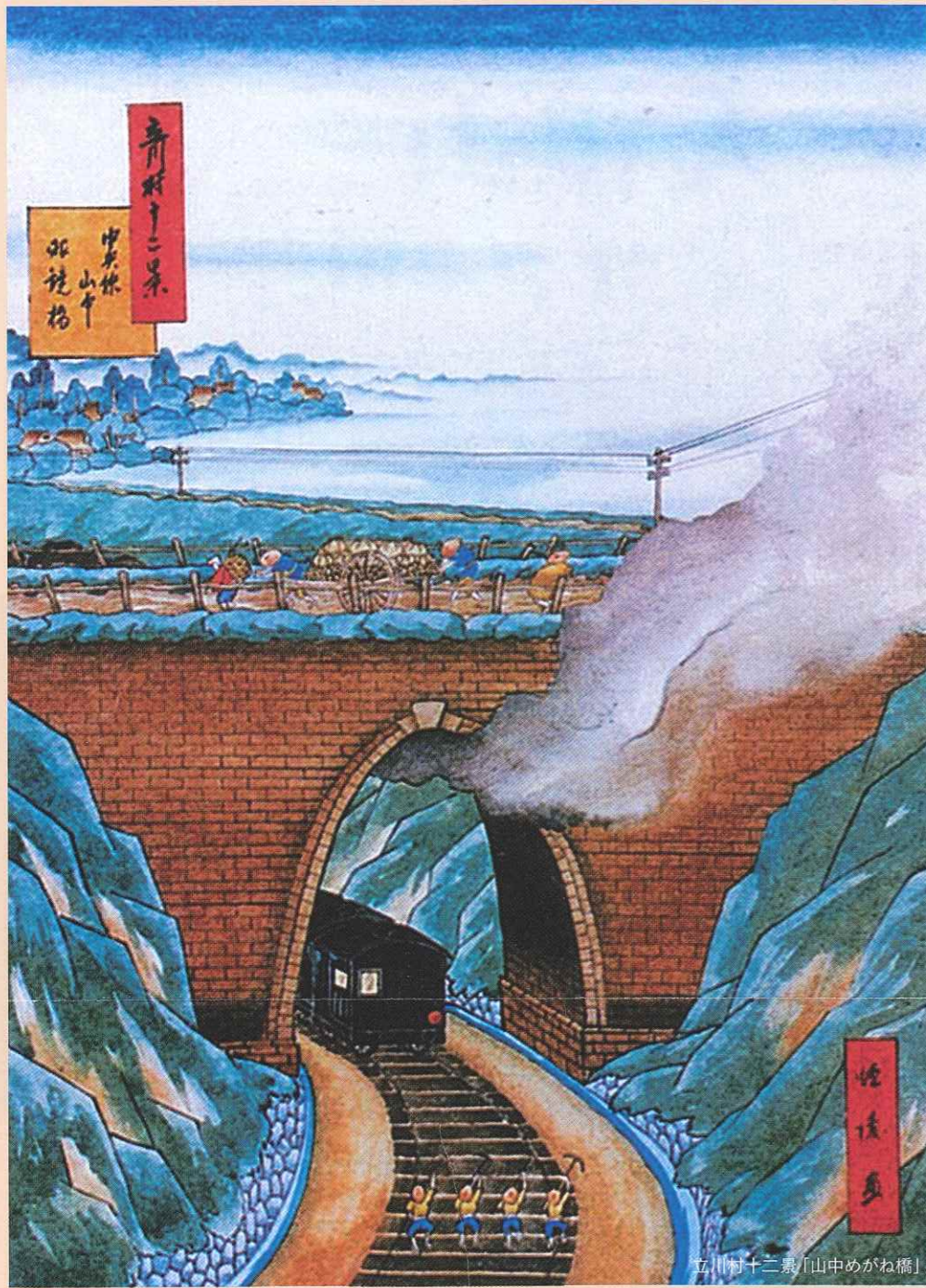
紅葉の真っ盛りの10月中旬に登った。日原林道の中ほどの八丁橋の先に登山口がある。のっけからの急登で、しかも足場が悪く、ばらばらと足元の小石が崩れ落ちる。ゆっくりと慎重に登ることにする。

尾根に出ると緩やかになり、ブナやミズナラの樹林の中を気持ちよく歩く。水場を過ぎ、アメダス雨量計設置所や壊れかかった大日神社を通り、急登を何回か繰り返すと、石灰岩の露出した痩せ尾根に出る。まわりはカエデ類が多く、鮮やかな赤や黄色に彩られ、まことに美しい。人知れずリンドウやトリカブトが青い清楚な花を開いている。会所(社務所)を越えると山頂はすぐそこ。スギの大木に注連縄が張ってあった。まだ、新しい縄だ。8月1日に例大祭があったので張り替えたようだ。

山頂は立派な神社が鎮座していた。凜とした雰囲気が漂う。西側の樹林が切り開かれ、長沢背稜の山々が見える。雲取山の稜線も見える。さきほど聞こえた発破注意のサイレンの音も昼時のためか止んで、実に静かだ。かすかに、シカの鳴く声が聞こえるだけ。昼食後、山頂周辺をぐるりと回り見事な紅葉を楽しんだ。

下山は往路を戻り、途中からスギ、ヒノキ植林地巡回用の作業道に入り名栗沢へ出た。ここに生えている樹齢500年はありそうなトチノキの巨樹を見て立川に帰った。





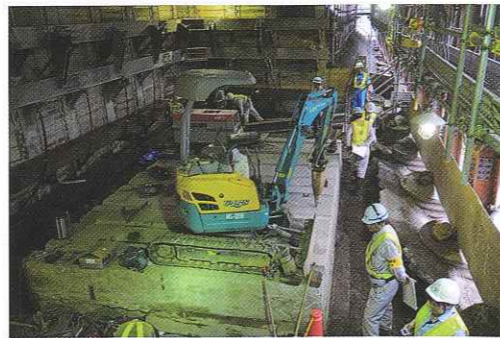
# 時代をつなぎ、地域をつなぐ ——めがね橋続報

立川と  
語る

## 『開通120年』列車を支える〈日野煉瓦〉

「めがね橋」の呼び名で親しまれてきた中央線にかかるレール橋。解体され、複線になる際補強に使われたレンガも取り外された。夏に入って、新しい橋台の基礎を造るため上り線側を掘削。きれいに積み上げられたレンガが現れた。120年前、甲武鉄道が開通した時の初代「めがね橋」。立川村十二景「山中めがね橋」そのものだった。

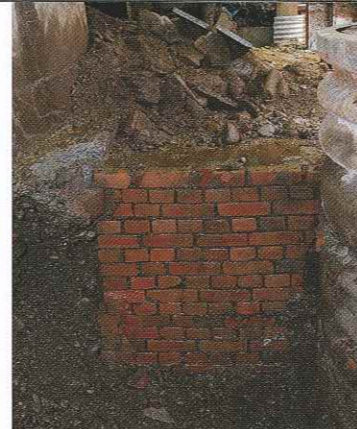
取材協力：JR東日本八王子支社、鉄建建設株式会社、立川市、日野市  
資料提供：日野市教育委員会 文化スポーツ課文化財係



レール跡の残るコンクリートの土台

「掘削を始めたら、もしかすると初代めがね橋が出てくるかもしれませんよ」と工事を請け負っている鉄建建設から連絡をもらったのは5月。果たして予想通り、初代めがね橋はその姿を現した。7月、東京はちょうどお盆という頃だった。

「出ましたよ!」の連絡にカメラを提げて飛んで行く。ヘルメットに長靴。JRの担当者が立ち会ってくれて、仮設の階段を線路側へ降りる。上り列車が走り去る脇に、今春まで70年間レール橋を支えてきたコンクリートの土台があった。しっかりその痕跡が残っている。「ここですよ」と言われて見れば、コンクリート土台の足下にきれいに積み込まれたレンガ。これが120年前の橋台? —今まさに積んだばかりのようじゃないか…。



イギリス積みと言われる積み方。長手だけの段と小口だけの段が交互に積まれている。



120年前のレンガの橋台

7月29日。鉄建建設から、「またさらに出ましたよ」との連絡。行ってみると、そっくりそのままのレンガ橋台がそこに見えている。120年もの間変わらずそこに立ち続けていた橋台。どうしてもその存在に光を当てたくなった。

初代めがね橋のレンガは〈日野煉瓦〉だという。明治20年から実質2年半しか操業していなかったにもかかわらず、50万個を製造した。立川—八王子間の中央線にかかる橋には、すべてこの〈日野煉瓦〉が使われているという。しかも現役。多摩川鉄橋に行ってみると、上り線と下り線の橋脚が異なることがすぐわかる。橋げたも120年前に作られたプレートガーダと呼ばれるものだ。



「HBW」刻印されたHBWとは Hino Bric Worksの略



日野駅に近い日野用水上堰(日野市)

中央線の前身甲武鉄道が新宿～立川間を開通したのは明治22年4月11日。当時1日4往復していたという。鉄道工事に着手してから9ヶ月目のことだった。立川～八王子間の開通が、それから4ヶ月遅れての8月11日。難所と言われた多摩川に鉄橋をかけ、水田地帯を東西に走る用水に開渠・暗渠を構築することがどんなに大変だったかが恐ばれる。

ほんの20年前まで新選組の勇姿が見られた日野宿。しかし明治になると人々は近代化の流れに敏感だった。日野の沼地からレンガ用の粘土を採取。明治20年に土質検査を行い日野宿の東端、下河原(現在の日野警察前あたり)に工場設立。慌ただしく操業を開始している。レンガ工場設立の目的には、日野停車場の誘致があったとも考えられている。〈日野煉瓦工場〉が鉄道局と煉瓦売買の契約を締結するよりずっと前から始めたのだから、日野宿に停車場を誘致したいという人々の願いはとても強かったにちがいない。



日野宿の西の端にある飯綱大権現。基礎が日野煉瓦でできている。

初代めがね橋は、昭和10年2代目めがね橋に架け替えられた。しかしレンガの土台はそのまま埋められ、その後70年以上地下で鉄道の音を聞いていた。線路の音に、街の変遷を感じていただろうか。

3代目の橋が架けられる今年、長い仕事を終えてレンガの橋台は取り壊された。



多摩川に近い日野用水下堰(日野市)



赤い屋根の隣が飯綱大権現社



新奥多摩街道の北側、根川にかかる鉄橋の名残。立川市で唯一日野煉瓦が残る場所。根川の幅が広がったことがわかる。(立川市)



多摩川鉄橋(白く塗られているが上り線の橋脚は日野煉瓦。立川側より撮影)

\*多摩てばこネット「まちの達人」コーナーに、〈日野煉瓦〉について詳しく掲載されています。

# 石の記憶をたどる

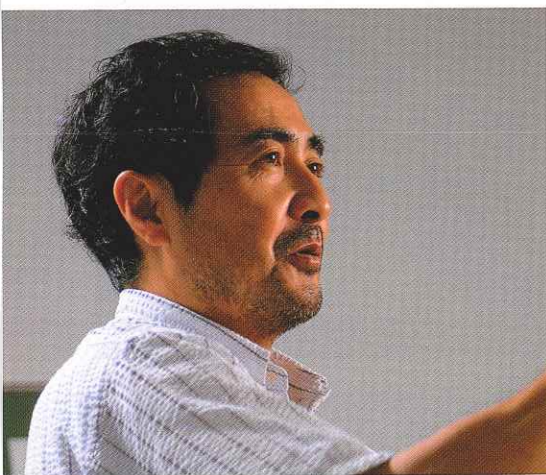
## 岩石を通して太古の地球と語る

11月に南極へ向かう第51次南極観測隊の隊長である本吉教授。草津の高原で行われた夏の訓練で配られた地図には、ほとんど目印が記されていない。これじゃ分からないのでは?と訊くと、「地図が教えてくれるんじゃない。自分で何を分かろうとするかだ」と即答した。この姿勢が研究にも貫かれている。

案内人 **本吉洋一** 国立極地研究所 副所長

### プロフィール

国立極地研究所・研究教育系地圏研究グループ教授、副所長(極域情報担当)、広報室長。大陸地殻の構成要素である各種岩石から、それらに記録されている変動の痕跡を抽出し、大陸の形成・進化モデルを構築することを目指して研究を進めている。日本の南極観測隊には6回、オーストラリアの南極観測隊にも参加した経験をもつ。理学博士。今年出発する第51次南極地域観測隊隊長。



### 南極でどんなことをするのですか?

現場、つまり岩の出ているところに行きます。まず岩石の分布や地層の構造を調べます。地層がどっちに何度傾いているとか、どの範囲まで広がっているとか。歩きながら、情報を持っていそうな石を見極めながらサンプリング(採集)し、集めた石を日本に持ち帰り解析して、変動の証拠をかためていきます。警察の鑑識の仕事と似ていますね。たとえば、現場に残されていた髪の毛一本や血液一滴を採集して情報を得るでしょ。今表面に出てきている石は深いところ、例えば地下数kmから数十kmでできた石で、つまり地球のはらわたがそのまま露出しているという感じです。

### 地球のはらわた?

南極大陸の石の中で、変成岩と呼ばれる種類は地表でできたものではない。元々は地表に

あった砂岩や泥岩、石灰岩だったりしたものが地殻変動で地球の中に押し込められ、深いところまで行く。たとえば深さだと30km、温度だと800°Cとか900°Cとか。そこでいろいろな鉱物ができるわけです。それがまた地表に上がってきて僕らの手に取れるところにある。そのメカニズムは本当のところはまだよくわかっていない。でもたとえば二つの大陸がぶつかれば、片方が下に潜り込むこともあるでしょう。また大陸が分裂した時に、地球内部からマグマが湧き上がってきてそれにつられて上に上がってくるとか。

### 石からわかること

地球の内臓部分だった石を集めて持ち帰り、分析機器にかけるといういろいろなことがわかってきます。たとえば昭和基地の石とスリランカの石。双方の石を調べたら、年代も近い石の性質も近い。見た目も似ている。つまり双子で生まれた兄弟が、幼い時に生き別れになった。今、二人を比べてみると、顔も似ているし血液型も同じだし、DNAも近いとわかったということですね。こうしてかなり古い時代の大陸の様子が変わってきます。



地質現象学というのはものすごく時間がかかるんです。しかも実験室では絶対再現できない。でもかつて地中深くにあったものが、今地表にでてきているのはまちがいない。そこに一体何が起こったのかということ、石にしゃべらせる。石の中に証拠が残っているんです。それこそ、数億年とか数十億年前の地球の変動を読み取ることができるわけです。野外に何気なく露出している岩石や堆積物から、その中に秘められた情報をじっくりあぶり出すというか、暴き出すというか、そういう過程が地質学という学問なのです。

### なぜ南極なのですか?

南極は水に覆われた大陸ですが、氷の下には広大な岩盤があります。今から約2億年前までは、アフリカ、南アメリカ、オーストラリア、インドなどとともにごンドワナ超大陸を形成していました。昭和基地付近は、インド南部やスリランカと地続きだったのです。昭和基地とスリランカがつながっていたのなら、それぞれに分布する岩石の種類や、それらができた年代が同じでなければなりません。

極地研には二次イオン質量分析計という装置があって、岩石に含まれる鉱物の年代測定に使います。日本には極地研と広島大学に設置されています。年代を測定するにもいろいろな方法があるのですが、二次イオン質量分析計による年代測定は、世界のスタンダードになりつつあります。

### 奇跡の星(地球)

地球ができたのは46億年前といわれていますが、46億という数字は地球の岩石ではな



南極エンダビーランドから採集されたサフィングラニュライト。青い柱状の鉱物がサフィリン。今から約25億年前に、非常に高温の条件(>1000°C)で形成された岩石。

地球の歴史を1年にたとえると・・・		
46億年前	地球の誕生	1月1日
40	最古の岩石	2月17日
35	最古の生物化石(?)	3月27日
5	昭和基地周辺の岩石	11月25日
2.570.6	恐竜の繁栄・絶滅	12月11~26日
0.02	人類の出現	12月31日
午後8時12分!		
80年	人間の一生	0.548秒
1年	南極での越冬	0.007秒

くて、実は隕石の年代なんです。太陽系には元々隕石がいっぱいあって、それが寄り集まり衝突を繰り返してだんだん成長して、原始地球ができた。隕石の衝突エネルギーで、原始地球は表面までマグマに覆われた。だから当時岩石はなかったわけです。

ただ、これまで見つかった最も古い鉱物で43億年前に形成されたものがあるんですよ。その小さな鉱物はジルコンと言いますが、年代測定に非常に適した鉱物で、測定してみたら43億。そのジルコンを分析していくと、水が無いとできないということがわかった。つまり43億年前、地球には水があったということになります。この水が地球という星を決定づけた非常に大きな要素だと思います。水があったことによってこの星には生命が生まれ、進化して我々人間につながっている。もし地球がもっと太陽に近かったら、水は全部蒸発してしまいます。逆にもっと遠かったら凍ってしまう。地球は実に絶妙な場所にあるんですよ。

でももし地球上に水しかなかったら、逆にいえば大陸がなかったら、生物のこんな進化があったのでしょうか。大陸があったから、その当時水の中にいた生物が上陸できた。今、地球に

は海と大陸が存在しています。これが、地球という奇跡の星を決定づけるもうひとつの重要な条件だと思います。そう考えると大陸ができたことは人類にとってとても大事な問題じゃないですか。だから僕はそれを探りたいわけです。

もし地球の観測や研究に関心だったり理解がない人がいたとすれば、それはまず「大陸ありき」だからじゃないでしょうか。当たり前地上に住んでいる。でも本当はそうじゃないんです。

### 地球の未来に向けて

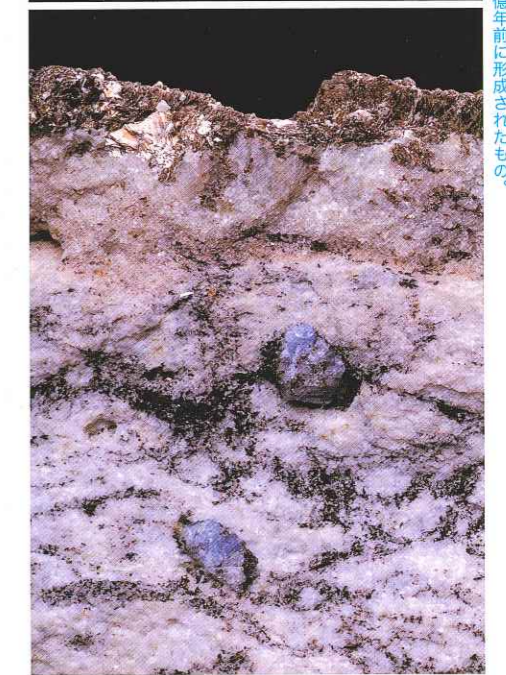
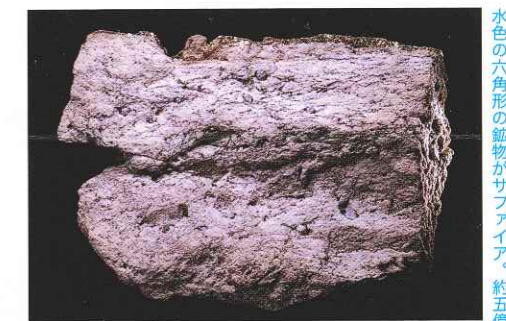
南極の自然を研究する人は、たぶんみんな、この地球がどうやってできたかを知りたい。岩石を研究する事はその1つの方法だと思います。遠い将来、だんだん太陽が膨張してきて、最後は飲み込まれて地球は終わるんです。白色矮星といって、どんどん膨張してきて火星くらいまで飲み込んで、そのあと大爆発してチリとなって浮遊する。それはずっと先の話ですが、その前に大きな環境変動が起きるとか、大きな隕石が衝突するとか、そんなことがあったらもう人類なんていなくなっちゃうかもしれない。

でも考えてみて下さい。過去にあったように、隕石衝突によって恐竜が絶滅し、そのおかげで哺乳類が繁栄し始めた。隕石がぶつからなかったら、未だに恐竜がウロウロして人間なんかいなかったかもしれない。この星は必然と偶然が入り交じって激動の変遷を経てきて、その結果我々が今いるんです。

地球の未来を予測するには地球の過去をしっかり知っていなければできない。過去を知ら



南極昭和基地の東約80キロメートルの明るい岬という露岩から採集されたルビーを含む岩石。赤い鉱物がルビー。黒い大きな鉱物はコーネルピン。約5億年前に形成されたもの。



南極昭和基地の南約七十キロメートルのスカールンという露岩から採集されたサファイアを含む岩石。水色の六角形の鉱物がサファイア。約5億年前に形成されたもの。

なかったら予測がつかないですから。地球という天体の内部がこうして石として地表に現れている。そこには、壮大な地球のドラマがまだまだ隠れていると思います。

石田郷子 俳人。1958年東京生まれ。おもに武蔵野をフィールドに作句。句集に「秋の顔」(木の名前)。

みのりの季節

十月といえば、爽やかな秋晴れの続く頃。吟行の足どりも軽いが、わが家のすぐ近所に空き地があつて、毎年、築山のように小高く



イラスト：小林木造

スキ入りの花束を買ってくるのが手早い。スキも雑草のうちだと思つて

いるのに、花屋の店頭で立派な価格がついてすまじこんでいるのを見

空心地という、罫雲の下に土管が積んであつたりするイメージ

でもまあ、「昔はよかった……」なんて陳腐なことはいわないで

の会「は毎月、一見なんの変哲もないような住宅街を歩き回って季節を味わっているが、住宅街を抜けて玉川上水の緑道に出るとクライマックスを迎えた気になる。

歴史のある上水だが、いったん役目を終えたあと、小平監視所から下に水を流さなくなったときには

木がずいぶん立ち枯れたという。今はそこにも浄水場で処理された水が流れ、ケヤキやイヌシデ、クヌギやナラなど、武蔵野らしい大樹

秋も深まってくると、その道いちめんにクヌギの実が落ちる。

よく童画に描かれるドングリは、ナラやシイ、カシの実で、少年のよう

動物たちのごちそうになる。玉川上水では大勢の足に踏まれてこなごなになり、もっぱら小鳥たちの御飯になつていららしい。

棟上げの植音コンと鳥渡る かやと

街の話題

第8回 応現院文化講演会 開催



第8回 応現院文化講演会

現代思想としての仏教一仏とは何か

講師：立川武蔵氏 (国立民族学博物館名誉教授)

日時：2009年11月6日(金) 午後2時開演 (講演時間約90分)

会場：応現院 (立川市泉町935-27)

主催：応現院文化講演会実行委員会 後援：立川商工会議所 立川観光協会 立川バス株式会社 FMたちかわ 協力：株式会社 精神文化映像社

真如苑の寺院「応現院」を地域の文化交流の場として活用してもらうことを目的に開催されている「応現院文化講演会」。

講演では、仏教学、インド学を専門とする立場から、日本人にとっての仏教とは何か？

立川氏は1942年生まれ。名古屋大学文学部哲学科卒業。名古屋大学文学研究科博士課程、ハーバード大学大学院で学び、文学博士、Ph.D。

【申込み】①住所・氏名・年齢・電話番号・希望人数(本人を含め2名まで)を明記し、往復はがきで申込先に郵送。②PC・携帯のインターネットの申込フォームで申込。http://www.bunkakoenkai.jp

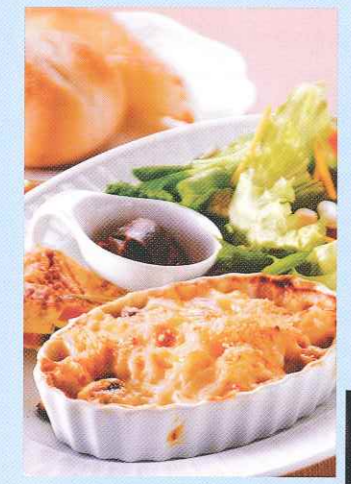


- えくてびあんの輪
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります。
今月は 柴崎町のお店です。
諏訪神社 522-2968
毎日新聞社グループ株式会社 都下毎日広告社 522-6121
パスタビーノ はしや 521-3386
味乃 寿司 由 522-3733
トーク・スペース 527-1636
株式会社 一心堂 527-3777
すがの 歯科 540-2675
中華 ハルビン 527-1809
紙匠 雅 548-1388
ピストロ すぎ浦 525-9929
ステーキ&欧風料理 クワトロ 528-2983
串揚げ 割烹 トントン 524-4521
Pasta Frolla 立川南口店 540-8033
レンタルスペース&雑貨カフェ 夢工房 543-7818
パセリドゥーエ 525-8486
甘味処 石や 524-0862
不動産 コマツホーム 525-5811
喫茶 キャリー 528-2630
芹沢 ガラス店 522-3065
かみゆい 処 わ 522-8202
ファッションハウス ホマレヤ 525-2788
ジョイフルプラザ スクエア 528-4250
酒歩 たから 528-1510
服地・洋裁材料 藤レディース 528-5101
純中国料理 北京大飯店 522-6393
田中星美堂 薬局 522-3913
生活雑貨 EAST END 523-9636
特むし銘茶・海苔 菊川園 526-2035

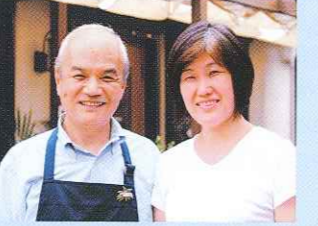
jorakugajo
真如苑提供番組<常楽我浄>
スカイパーフェクトTV 216ch
マイ・テレビ アナログ 11ch
デジタル 111ch
放送時間については番組表をご確認ください。
www.shinnyo-en.or.jp

オリオン書房
雑誌・書籍・地図・政府刊行物・教科書・文房具・事務機
ルミネ店 (立川ルミネ7F) TEL 042-527-2311
ルテ店 (パークアベニュー3F) TEL 042-522-1231
サザン店 (グランデュオ下サザン2F) TEL 042-525-3111
アレア店 (アレア2・3F) TEL 042-521-2211
立川北口店 (第一デパート3F) TEL 042-523-3311
http://www.orionshobo.com

この人この店 (75) Coffee House 旅人木
染谷 俊和さん 染谷 浩子さん



今月は立川を飛び出して、昭島市東中神にやってきました。駅の南、八千代銀行前で江戸街道を渡ります。八清通りを進み、スーパーマルフジやたましんが見えてくればすぐ近く。閑静な住宅街に憩いの空間「旅人木」が現れます。



〒196-0034 昭島市玉川町5-1-12 TEL 042-541-1269
営業時間 9:30~19:00 (L.O.18:00) 土・日・祝日は8:00から営業
定休日 毎週金曜日 ▶多摩てばこネット(お店のコナー)にも掲載中。

かたこと ススキの穂が立ち、秋も盛りに向かう季節、「えくてびあん」10月号をお届けします▼秋桜と書いてコスモス。最近はいろいろな色がありますが、一面に咲くピンクや白の花は、まさに秋の桜▼国営昭和記念公園コスモス祭りでは、園内数百万本のコスモスが楽しめます。今月号の表紙は、MAYUKO@ゆうまおさん。昨年コスモスの盛り撮影させていただきました。花の中で一段と輝きます▼季節ごとに刻まれる自然のリズム。多くの星の中で生き物を宿すこの地球という惑星は奇跡というべき

でしよう▼年間企画「立川の世界一!」国立極地研究所からは、大陸の形成・進化が専門の本吉洋一副所長に登場いただきました▼岩石を通じて太古の地球と語ることが地球の未来を考えることになる。奥の深いお話です▼「立川と語る」はJR中央線にかかる「めがね橋」架け替えの続報▼秋は「山粧う」とも。「続々・立川の山」は紅葉の奥多摩・天祖山にご案内します。平地より一足早い山の装いを楽しんでいただければでしょうか▼食欲の芸術のスポーツの……さまざまな秋の実り。えくてびあんも実りあるよう、がんばります。

えくてびあん (c) 10月号 第28巻 通巻299号 平成21年10月1日発行
発行 有限会社 えくてびあん
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065
発行人 黒須 環
編集人 芳賀敬博
無断転載を禁じます。
編集スタッフ 大久保清志/清水恵美子/中藤子
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMMNET design factory
写真 五来孝平/中村 伸
スタイリスト 小川町子
印刷 株式会社 大廣社

表紙の人
MAYUKO@ゆうまおさん (一番町)
シンガーソングライターにして、アニメ・ゲーム作品やドラマに楽曲を提供する作詞作曲家。国立音大在学中にピアノ弾奏の活動を始め、作家としても数々のアーティストや幅広いファンの支持を受ける。今年2月ゆうまおセカンドアルバム「someday」を出し、提供曲はアニメDVD『鉄腕バーディー DECODE-THE CIPHER-』やTBS系ドラマ『MR. BRAIN』など多数。歌うことと楽曲づくり、どちらも大切に活躍を続ける。
国営昭和記念公園で 写真：細江英公



## Gare de Nord (北駅) —ある夫婦の食卓

映画『パリとところどころ』ジャン・ルーシュ監督

学生時代によく観ていたフランス映画。1950～60年代には、『勝手にしやがれ』など手持ちカメラで街や時代、そこに暮らす人々をリアルに映し出した映画史に残る数々の名作が誕生した。『パリとところどころ』は、そんな時代を象徴するゴダールやロメール、シャブロールなど6人の監督によるパリを舞台にしたオムニバス映画である。

その中の一篇『北駅』。若い夫婦が暮らすアパートマンの狭いキッチン。ギンガムチェックのテーブルクロスにカフェオレポウルと食べかけのフランスパン。

この映画を観てからは、カフェオレポウルをコレクションできるほど買いまくり、フランスパンを毎日のように食べていた。ほのかにバターの香りがするカリカリのパンをかじり、未踏のフランス、パリへ想いを馳せていたあの頃。もう何年も経ってしまったものだと、フランスパンを噛みしめるたびに思う。

シネマシティ 広報担当：古川ゆかり  
<http://cinemacity.co.jp>

今回は古川ゆかりさんご紹介のシンガーソングライター古瀬陽光さんです。

### 今月のパン

ラ ブランジュリ  
 キニヨン

TEL 042-325-6616

本店  
 国分寺市南町 2-11-23  
 リヴェールプラザ 101  
 営業時間 11時～19時  
 定休日 毎週 日・水曜日

エキュート立川店  
 営業時間 7時～22時  
 (日・祝日は21時)

(多摩てばこネットとっておきのお店に掲載中)